

葛飾 FC ニュース

VOL12 2003 5月号

URL:<http://by3.co.jp/kfc/>

2003 年度スタート

4月13日に総会が開かれ、葛飾FC3年目がスタートしました。総会の内容をまとめ、一部補足します。

1. 代表から・・・横堀秀一

葛飾FCも3年目に入り、前年度の方が確立してくれた良い形を守りながらさらに充実した組織にしていきたい。今後も皆さんのご協力をお願いします。

2. 前年度会計報告・・・金子信夫

総会資料参照

3. 規約案の説明・質問受付及び承認、今年度スタッフ承認

総会資料参照

4. コーチ連絡網について

学年担当コーチと学年代表が連絡を取り易くする目的で整備

5. 指導要項について

総会資料参照

6. 年間活動予定について

前年度と同様の大会参加予定

春季市民大会・・・5年生 4/19?

船橋選手権サッカー大会・・・6年生 7/12?

中山競馬場長杯・・・6年生 7/下旬

夏季ミニサッカー大会・・・1,2,3,4年生 9/6?

(フットサル大会 ミニサッカー大会に言い換え)

東武カップサッカー大会・・・5年生 9/23?

秋季市民大会・・・6年生 11/1?

冬季ミニサッカー大会・・・1,2,3,4年生 12/7?

卒業生大会・・・6年生 1/11?

船橋市長杯船橋招待サッカー大会・・・6年生 3/中旬

日程は変更になる場合があります。

随時練習試合

親子サッカー大会

六送会

7. 練習日について

葛飾小グランドでの練習は原則として第1,第3土曜日と

第2,第4日曜日

8. ユニフォームについて

上着についてはクラブのものを学年ごとに貸し出しますので

管理は学年で責任をもって行って下さい。

6年生・・・赤(20枚)、黒/白(16枚)

5年生・・・黄(14枚)

4年生・・・白(22枚)

大会などで、メインとサブの2種類が必要なときは学年間

で貸し借りをして下さい。

パンツとストッキングについては個人持ちとし、大会の時は青

を使用します。(1?5年生) 練習着は特に指定しません。

9. 入部届の取り扱いについて

事務局管理ですが、入部届の用紙を葛飾FC保管ボックス

(体育倉庫内)に入れておきますので、入部希望者がみえたら渡

していただけますようご協力をお願いします。

また入部希望者より入部届を預かった場合も同じところに保管

していただきますよう重ねてお願いします。その際、お金は受

け取らないで下さい。事務局が定期的に回収し、連絡を取る様

にします。

10. 練習予定表の配付について

今年度より2ヶ月分の予定を全学年に配付します。

小山先生のご好意で学体のサッカー部の予定表に葛飾FCの予

定も載せて頂きますが、急な変更などで食い違いが出る場合も

あると思います。その時は葛飾FC配付の予定表を優先して

下さい。

11. トイレ掃除について

通常練習時

全学年の練習が終了した後に掃除する。

掃除後は窓とドアを施錠する。

練習試合や大会などで他校が来校するとき

開始前にトイレがきれいか、トイレトペーパーがセット

されているかをチェックする。

終了後は通常通り掃除、施錠する。

12. 学年代表、副代表選出・承認。連絡網決定

2003年度学年代表/副代表 紹介

6年 大崎 / 宇野

5年 渡辺 / 斎藤

4年 伊瀬 / 大関

3年 山田 / 和川

2年 長野 / 山下

1年 事務局が担当

13. コーチ紹介

14. 質疑応答

15. サッカースクールについて説明・申し込み(2, 3年生)

16. 引率報告書の新設

遠征時の立替を指定の用紙にて報告

総会資料をお持ちでない方は青木までお問い合わせ下さい。

春季市民サッカー大会(5年生) 予選4/19, 20に

ついてコーチのメールから・・・

横堀です

5年生大会予選2日目を見してきました。結果は田喜野井に2?0で負け、薬円台南に8?1で負け、結果4連敗で最下位でした。

勝ち負けよりもサッカーの内容がかなり深刻でした。

田喜野井との試合は前半かなり押し込みましたが得点できないまま終了。後半は逆に一方的に押し込まれ2失点。

薬円台南にはほとんど相手のドリブルで突破されていました。

葛飾の子供はボールコントロールが悪く、ドリブルやパスプレーにつなぐことができず、ただ蹴るだけがやっと。

また、連敗が続いて失点が怖いのか全員が後ろに引いてしまい下がりながらのプレーに終始していました。

ボールコントロールとドリブルの技術の習得に努めないとサッカーにならなくなる可能性があります。

練習プログラムを工夫してしばらくの間は上記2点に的を絞った練習をした方が良いでしょう。小生がしばらくの間、1年生だけではなく、5年生も直接指導しようかと考えています。5年生はこれから11対11の試合になります。基本の基本を習得しないと先に進めません。

また、学体の練習メニューも考えておきます。学体の練習にも積極的に参加するようにクラブから指導した方がいいかと思います。

青木です

試合の結果了解しました。

横堀さんが考える通り、基礎技術は4年生で有る程度完成をするよう指導していけるようにしたいと思います。

5年生、6年生では、その上のステップに行きたくても前段階の基礎が習得されていないと試合にならない状況は良く理解できます。

現6年も全く同じ状況です。

3年生、4年生がとても重要な時期であり、総会で配付した指導要項にそった練習カリキュラムが大切だと思います。

ただし、葛飾の場合3年や4年生から入部する子供たちもあり、なかなか学年でカリキュラムを決めるのが難しいのも事実です。

私たちは、子供たちのレベルに合わせた指導をするわけですから蹴ること、止めること、ボールを取られないことは最低限の習得技術として高学年になっても指導しなければいけないと考えます。

試合に勝てないからと、勝つ方法を考え指導するのではなく、基本技術の底上げに努力しなくてはならないと思います。

また、圧倒的な問題点は練習量が少なすぎることで週3回練習出た子供たちと月に4回しか練習できない子供たちでは差がついて当然で、特に基本技術の差は致命的なレベル差となってしまいます。練習の質と量を考えると、学体の練習は重要だと思います。(指導内容のリンクも)

また外部のスクール等への参加(ビバリオスクール)やカネズカ等の出張スクールなどの検討も大切だと思います

私たちが出来ることとしては練習が出来ない週末には練習試合を積極的に取っていくこともボールを蹴る機会を増やすことが出来、効果的かと思っています。

チームとして有効な方法は検討し導入していきたいと思います。コーチの皆さんも考えてみて下さい。

【編集後記】葛飾FC立ち上げ時は部員30名、コーチ5名、現在部員73名、コーチ23名の大きなクラブになりました。組織が大きくなるとさまざまな問題点も出てきます。その原因の一つは情報の風通しが悪くなることだと思います。疑問点や改善点があるときは遠慮なく学年代表やスタッフに話して下さい。親と子がサッカーを通じて楽しい時を過ごすというのが目的のクラブです。自分の子供と自分のために皆が少しずつの力を出して居心地の良いクラブにしていければと思います。

青木和代

ニュースについての御意見、寄稿は <mailto:kazu@by3.co.jp>

お知らせ

2002 年度葛飾FC卒業生よりキャスター付折り畳みみ
式ボール入れの寄贈がありました。